

南湖ハウス通信



10月の活動報告

10月半ばにハウスの庭に植えた大根と小松菜から小さな芽が出てきました。栗やさつまいも、柿といった秋の食材も店頭に並び、季節の変化を感じさせてくれます。

さて、10月は様々なところで市議さんとお会いする機会を得ることができました。9/29は海のほとりの「Cの辺り」で「市議がマスターになる まちのBAR」、10/11のチガラボチャレンジ「性教育のこれから」では女性市議さん、10/24は、会派「市民の声ちがさき」の皆さんが南湖ハウスに来て頂き、私たちの活動について様々なアドバイスをいただくことができました。(詳細は裏面)

「性教育のこれから」は「命」「中絶」「不妊治療」「望まない妊娠」「社会的養護」「LGBT」「性被害」等さまざまな切り口があるので、今回は「性暴力」と「自分の体をどう守る」についてパワーポイントと紙芝居で発表しました。

11月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			OPEN		祝休	
5	6	7	8	9	10	11
	OPEN	③	予約有		予約有	①
12	13	14	15	16	17	18
	OPEN		OPEN		OPEN	
19	20	21	22	23	24	25
	OPEN		OPEN	祝日	②	
26	27	28	29	30		
	OPEN		OPEN			

2023年 vol.27 11月号

①11/11(土)大人の勉強会 (早稲田里親研究会)
今回の勉強会には、20年間、CAP活動や子どもの権利への理解を広めてきた「にじいろCAP」代表理事 重永侑紀さんを招いてZOOMオンライン勉強会を開催します。

日時:11月11日(土) 13:00~15:00

申し込みフォーム ⇒ ⇒ ⇒
(後でZOOMのURLが送られます)



テーマ:(仮)「子どもの声を聴くために大人が出来ること」

活動の詳細は、HP にじいろCAP - にじいろグループをご覧ください。

* 早稲田里親研究会は6ヶ月をお試し期間として参加費無料で受講できます。

②赤ちゃんの発達サポート教室

11月24日、12月22日 (第4金曜日)

10:30~12:30 詳しくはインスタ「つきのわ 宮崎さやか」で検索を

最近パパも一緒に学んでいます。お昼はスタッフの手作りランチです。

急きょ決定!

③ チガラボ タクラミバー

~TAKURAMI BAR~

18:00~21:00

1ドリンク付き ¥1000~

「一番身近な性のはなし」

向き合うきっかけになればいいなあ♡



ふらっと南湖 (団体名)

TEL:0467-82-7155 (松本)

メール: nangothouse@gmail.com

場所: 茅ヶ崎南湖4-2-18東棟

月水金の10~16時が開所時間です。これ以外の日をご希望の方はご一報ください。



ホームページ

「市民の声ちがさき」との懇談会

10/24は会派「市民の声ちがさき」の皆さんに南湖ハウスまで来ていただき、日頃の活動や里親活動をしてきてわかったこととお伝えし、皆さまからは「外から見た南湖ハウス」のことをお話しただけでした。

「市民の声ちがさき」は、花田慎議員、藤村ゆかり議員、山口順平議員の3人の会派です。議員さんのお仕事は、議会で発言するための調査や準備かと思っていたのですが、それだけでなく、地域のよろず相談がたくさん持ち込まれ、市民からは見えない仕事がたくさんあることを知りました。

「外から見た南湖ハウス」については、なかなか聞く機会がなかったので、反省することが多々あり、今後に生かしていきたいと思いました。お互いを感じていることを忌憚なくお話することができて、気がつけば3時間もの時間が経過していました。

市民と議員さんがフラットに話しあえる場を作っていくことの大切さを感じた次第です。このような機会をつくっていただけたことに深く感謝いたします。

市議がマスターになる まちのBARに参加して

9/29は、サザンビーチ「Cの辺り」で開催されたこのイベントに参加してみました。

スタートは17:30からでしたが、たくさんの方が訪れていて、特に若い世代の方の参加が目立ちました。茅ヶ崎の市議さんや県議さんも党派と越えて参加され、みんなの仲のいい様子は安心感になりました。

7人ほどの議員さんが自己紹介で熱き想い語ってくれましたが、もう少しじっくり聞きたかったです。このイベントは、まだ始めたばかりのようです。議員さんとの距離が近づいた気がしてとてもよかったです。(*^-^*)。



今年は
11月は24日（金曜日）
12月は22日（金曜日）

性教育のこれから

10/11は、チガラボで“助け未来21”の西さんとの協働イベントを開催しました。参加者は10人ほどで司会者以外は全員女性（うちひとり女性市議さん）でした。

イベントのきっかけは、ジャニーズ問題ですが、四谷大塚という小学生の受験塾で女兒に対しての性加害もあってはならない事件です。

「子どもを性虐待から守るには
どうしたらいいか」



加害者の80%が顔見知りの人なので、先生、親戚のおじさんというのでも聞きます。子どもは加害者から口止めされるので、小学生になったら、「イヤな触られ方をしたら、逃げること」「大人と二人だけにならないこと」を伝えておきたいですね。日頃から親子関係を良好に保ち、また親だけでなく地域にも相談できる大人との関係をつくっておくと安心です。（子どもは親に心配させたくないというブレーキがかかるからです）

ジャニーズの被害者も何年何十年も表に出すことができなかったように、性虐待は、表面化しにくく、大人になったからといって忘れて解決するものではありません。むしろ、大人になってから急にフラッシュバックが起きたりして、受けた人がいつまでも苦しむのです。

「性＝命」どれだけ罪深い行為であるかを加害者には知っていただきたいです。



性知識を得ることで性行為に慎重になるというデータがあり、世界では性について学校で踏み込んで教えられています。SNSでも最近、SHELLYさんやシオリーヌさん等が性教育講座を配信しているので参考にしてください。このイベントは今後も継続しま〜す！